

## 第56回 東京都会計基準委員会 議事要旨

### 【開催日時等】

- 日 時 令和3年8月19日(木) 14時00分～16時00分
- 開催形態 Web会議システムを利用した遠隔会議
- 出席委員 公認会計士 清水涼子  
公認会計士 薄井 誠  
公認会計士 中村 徹

### 【議題】

- ・ 開 会
- (1) 令和2年度財務諸表(案)について
- (2) 令和2年度財務諸表の点検について
- (3) 東京都財務諸表概要版について
- (4) その他

### 【配付資料】

- 資料1 令和2年度財務諸表(案)について
- 資料2 令和2年度財務諸表に係る監督数値について
- 資料3 東京都の財務諸表(概要版)

### 【議事内容】

開会にあたって、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として、Web会議システムを活用した遠隔会議にて進める旨を事務局より説明した。

委員会では、議題に沿って以下のような内容の協議や意見交換が行われた。

#### (1) 令和2年度財務諸表(案)について

事務局より、資料1を用いて、令和2年度財務諸表の概要と令和元年度からの増減要因分析を報告した。

(新型コロナウイルス感染症による決算への影響)

- ・ 貸借対照表について、新型コロナウイルス感染症対応緊急融資等に対する貸付金の増加、財政調整基金の取崩による減少及び都債の増加などの影響があったことを事務局より説明した。
- ・ 行政コスト計算書について、税収の減少に加えて、新型コロナウイルス感染症対策の実施により補助費が増加したことから、行政収支が減少となったことなどを事務局より説明した。

(オリンピック・パラリンピック大会の開催による決算への影響)

- ・オリンピック・パラリンピック大会の開催による決算への影響は何年度決算に表れるのか。  
→令和3年度決算に影響があるものと想定している。(事務局)

(インフラ資産の増加)

- ・インフラ資産の増加額について、主な要因を教えてください。  
→主に道路用地の取得による増加である。(事務局)

## (2) 令和2年度財務諸表に係る監督数値

事務局より、資料2を用いて、官庁会計と財務諸表の決算値の正確性を照合等により検証した結果を報告した。

(官庁会計の決算値との差異把握)

- ・公有財産について、官庁会計と財務会計で発生する制度上の差異にはどのようなものがあるか教えてください。  
→例えば、財産の取得について、財務会計では、覚書等が交わされ、対価を支払った時点で財産の異動を認識しているが、官庁会計では、実質的な財産の管理状況等によって台帳から異動させる場合があり、差異が発生する可能性がある。(事務局)

## (3) 東京都の財務諸表(概要版)について

事務局より、資料3を用いて、財務諸表から分かる指標などを説明した。

(財務諸表から分かる指標)

- ・行政活動キャッシュ・フロー収支差額について、昨年度までは一定の水準を確保していたが、令和2年度において新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少したことなどを説明した。
- ・有形固定資産減価償却率について、平成30年度は会計方針の変更により、急激な上昇となっているが、10年間を通してなだらかに上昇傾向であることなどを説明した。

(音声コードについて)

- ・昨年度に引き続き、情報のバリアフリー化を目的として、スマートフォンなどの端末を用いて読み取りが可能となる音声コードを付記していることを説明した。

(4) その他

(会計年度任用職員に係る賞与引当金の計上について)

- ・合理的な数値の集計、計算が実務的に困難であること、賞与全体に占める割合が小さいことから、引当額を算定し計上することに係る費用対効果等を総合的に勘案し、引当金は計上しないことを説明した。

○今後の予定

今回は、令和4年3月に以下の議題での開催を予定している。

- ・令和2年度財務諸表監査の報告について

以上